

表銀座パノラマ縦走(小屋組)

【日程】2015年9月18日(金)~22日(火)[小屋泊]

【メンバー】3人 (男性1名・女性2名)

【アクセス】バス・電車

コースタイム		***活動記録***
9/19	8:45 中房温泉登山口(出発) - 12:12 合戦小屋 - 13:50 燕山荘 - 15:10 燕岳	19日朝、中房温泉登山口で、前日泊組と夜行バス組が合流。合戦尾根を登って燕山荘へ。そこから、360度大パノラマの表銀座を縦走する。 SWで、山小屋はどこも大混雑。それでも運よく、どの小屋でもグループだけのスペースをもらうことができた。 燕岳~大天井岳~常念岳~蝶槍と、快晴の中を、正面に槍を見ながら進み、絶景を堪能する。 最後は横尾尾根を下って横尾山荘へ。 そのまま梓川沿いを進んで徳澤園に到着 総走行距離は34km。山行中、ずーっと、笑えばなし。 ゆかいなパーティとともに、一生の思い出に残る楽しい時間を過ごすことができた。
9/20	5:30 燕山荘 出発 - 9:45 大天井岳 - 14:00 常念小屋	
9/21	5:30 常念小屋 出発 - 7:05 常念岳 - 11:15 蝶槍 - 14:02 横尾山荘 - 15:20 徳澤着	
9/22	8:00 徳澤園 出発 19:18 大阪着(解散)	

【写真】



1. 中房温泉登山口。ここで登山届を提出して出発



2. 合戦尾根の入り口付近。いきなりの急登が続く。



3. 30分ほどで第1ベンチへ



4. さらに30分で第2ベンチ。



5. このあたりから、木の根道が続く。



6. 第3ベンチ。疲れている人が多くなってきた気がする。



7. 富士見ベンチ。ここから富士山を見たことがない。



8. だんだん紅葉が始まってきた。



9. 合戦小屋。まだ、スイカを販売していた。温かいスープと一緒に。



10. お昼時なので、たくさんの方が昼食をとっていた。なんと、ここでテントを張る人が大勢。



11. 登山道の紅葉が美しくなってきた。



12. 燕山荘到着。荷物をデポして、燕岳に向かう。



13. イルカ岩。本当に、うれしそうないルカがいた。



14. 雲海と空中庭園。



15. 頂上まであと少し。



16. メガネ岩。



17. 燕岳山頂。



18. 燕山荘でほっと一息。生ビールとワインで乾杯。



19. 燕山荘の今夜の夕食。美味しかった～。



20. おなじみ、オーナーのホルン演奏。



21. 朝は早立ちだったので、お弁当にもらった。



22. 夜明け前に出発。



23. 燕岳のモルゲンロート。



24. 蛙(ゲエロ)岩付近。



25. いつの間にか、燕岳がこんなに遠くになった。



26. 大天井岳が見えてくる。



27. 雲海の中に、遠く、御嶽山が見えている。かすかに噴煙を上げている。



28. 切通岩が見えてきた



29. 鎖場を慎重に進む。



30. 大天荘に到着。



31. 荷物を大天荘にデポして、大天井岳に向かう。



32. 頂上付近は大混雑。



33. 大天井岳をあとにする。



34. 岩場を通過中に、骨折して倒れている人と遭遇。長野県警のレスキュー隊員が到着。



35. けが人の手当てをする救助隊員。



36. 救助を見守っていると、いつのまにか、猿の群れに囲まれていた。あわてて立ち去る。



37. 振り返って、東天井岳(手前)と、大天井岳(奥)



38. 紅葉したダケカンバの樹林帯に入る



39. 常念小屋のすぐ前で、K嬢率いる常念パーティとばったり出会う。ほとんど同時に合流できて、奇跡の記念撮影。



40. 常念小屋も大混雑。



41. 小屋の夕食。野菜いっぱいでおいしかった。



42. 次の日も、夜明け前に出発



43. 日の出を見ながら常念岳に向かう。



44. 檜・穂高がモルゲンロートに染まる。



45. 頂上付近ですっかり明るくなってきた。



46. 山頂



47. 常念岳の南側斜面を下ってきた。



48. 岩場を通過中。



49. 2512 ポイントから、常念岳南斜面を遠望。



50. 蝶槍が見えてきた。



51. 蝶槍へ向かう鞍部の樹林帯。



52. 樹林帯を抜けたあとの岩場。



53. やっと、梓川と上高地が見えた。



54. 槍見台



55. これで、槍も見納め。



56. 横尾大橋付近。



57. 徳澤園に到着



58. 翌朝、上高地へ



59. 帝国ホテルに到着



60. 最後の楽しみ。ティーラウンジで、ケーキセットをいただく。